

ハウスダスト 舞い上がり量

カーペットは

1
10

ご存知でしたか？

カーペットはハウスダストが舞い上がりにくいことを。
事実、フローリングに比べて10分の1。

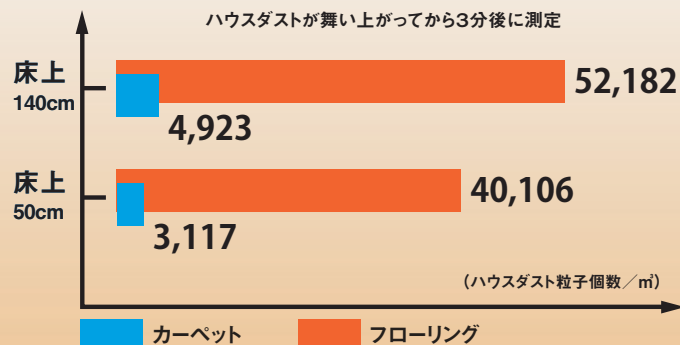
未来の笑顔のために…

ハウスダスト舞い上がり量の比較

$\frac{1}{10}$ をビジュアル化



実験結果



実験実施：地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所（受託研究制度により実施）

詳しくはこちらをご覧ください。▶



日本カーペット工業組合・インテリアファブリックス性能評価協議会

カーペットでリラックス!

三重大学大学院との共同研究で実証

医学系雑誌「Iranian Journal of Public Health」で論文掲載(2016年6月)

日本神経科学学会にて発表(2015年7月)

【実験方法】

■被験者数

男女42名(20歳~68歳)の健康な非喫煙者。

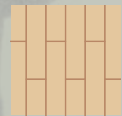
■実験方法

カーペットとフローリングの各床材を10分間ソックス着用で歩行。



【カーペット 20m²】

ナイロン製カットパイル
(パイル長 5mm)



【木質フローリング 20m²】

ラミネートフロア(全厚 8mm)
+下地シート(厚み 2mm)

■脳波測定 α 波の含有率を測定

各床材を歩行後、被験者の α 波(リラックスした状態で多く発生する波形)の含有率を測定。

42名中32名がカーペット上を歩いた直後の方がフローリングに比べ、 α 波量が多くリラックスしている。

32名/42名

■心理アンケート

実験直後に心理アンケート(SD法)をした結果、カーペットは

「穏やかな」
「疲れを感じない」
「落ち着いた」
「快適な」

など、リラックスする印象を受けた人が多かった。

■皮膚インピーダンス測定

各床材を歩行後、被験者の皮膚インピーダンス値(手のひらの発汗量が少ないほど大きく、リラックス状態を示す)を測定。

42名中32名がカーペットを歩いた時の方がフローリングに比べ、発汗量が少なくリラックスしている。

32名/42名

“

脳波などの生理的な評価及び心理的な評価のいずれもカーペットの方がフローリングより「リラックスを与える」床材であることを示した。

”

詳しくはこちらをご覧ください。▶



日本カーペット工業組合・インテリアファブリックス性能評価協議会